

I 第48週の発生動向 (2011/11/28~2011/12/4)

1. 流行性耳下腺炎については、八戸保健所管内において第47週から**注意報**が発令され、上十三保健所管内では、**警報**が発令されました。

II 第48週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(85) インフルエンザ															0				
小児科																			
(74) RSウイルス感染症	3	0.3	5	0.6	9	1.0	1	0.2	3	0.5			21	0.5	-7			3	0.4
(75) 咽頭結膜熱	3	0.3	1	0.1					1	0.2			5	0.1	2			3	0.4
(76) A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	25	2.8	12	1.3	3	0.3			14	2.3	10	2.5	64	1.5	8			25	3.1
(77) 感染性胃腸炎	82	9.1	38	4.2	16	1.8	12	2.4	25	4.2	6	1.5	179	4.3	80			9	9.0
(78) 水痘	9	1.0	16	1.8	22	2.4	2	0.4	19	3.2	8	2.0	76	1.8	-2			9	1.1
(79) 手足口病	1	0.1	2	0.2	4	0.4			6	1.0	6	1.5	19	0.5	5			1	0.1
(80) 伝染性紅斑									1	0.2	1	0.3	2	0.0	0				
(81) 突発性発しん	5	0.6	1	0.1	2	0.2			2	0.3	5	1.3	15	0.4	-4			5	0.6
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ															-3				
(84) 流行性耳下腺炎	17	1.9	1	0.1	28	3.1			36	6.0			82	2.0	15	2	2.0	15	1.9
眼科																			
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎			4	1.3	1	0.5	1	1.0	1	0.5			7	0.7	3				
基幹																			
(92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	11	11.0						6	6.0	19	3.2	6			
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市1人、弘前1人、八戸1人、上十三3人 (23年計:392人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・無菌性髄膜炎患者4名(髄液、10/4~11/2)・・・**エコーウイルス6型**：弘前(1)、五所川原(3)
- ・てんかん重積・脳症疑い患者1名(うがい液、10/31)・・・**ヒトヘルペスウイルス7型(HHV7)**：青森
- ・口内炎・不明熱患者1名(咽頭ぬぐい液、10/14)・・・**HHV7およびライノウイルス(HRV)**：八戸
- ・クループ症候群患者1名(鼻汁、10/9)・・・**HRV**：八戸
- ・気管支炎・多形紅斑患者1名(鼻汁、10/21)・・・**HRV**：八戸
- ・けいれん重積患者1名(咽頭ぬぐい液、11/11)・・・**HRV**：青森

感染症の窓

マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握疾患)

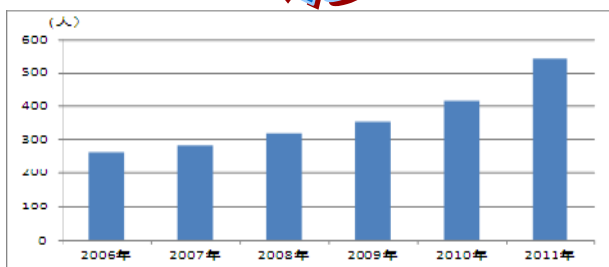


図 年別累積報告数(青森県)

		(人)	
東地方+青森市	0	五所川原	1
弘前	94	上十三	0
八戸	304	むつ	143

表 2011年第1~47週の保健所管内別累積報告数

マイコプラズマ肺炎は、*Mycoplasma pneumoniae* を病原体とする呼吸器感染症です。感染経路は、飛沫感染による経気道感染や接触感染です。感染には濃厚接触が必要であると考えられ、保育施設、幼稚園、学校など閉鎖施設内、家庭内での感染伝播があります。

潜伏期間は2~3週間で、初発症状は、発熱、全身倦怠感、頭痛などです。本症の特徴である咳は、初発症状の3~5日後から始まることが多く、乾性の咳が徐々に増強し、解熱後も長期にわたって(3~4週間)持続します。(IDWR 2011第43週週報)

全国の定点当たり報告数は、第25週から、1999年の調査開始以降の同時期と比較して最も多い状態が継続しています。(IDWR 2011年第43号週報参考) 県内でも、第47週までの累積報告数が、過去5年と比較して多くなっています(図、表)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です） 単位：人 2011年第29週～第47週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
29	H23.7.18 ~ H23.7.24		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31		腸管出血性大腸菌感染症3人 後天性免疫不全症候群1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
31	H23.8.1 ~ H23.8.7					つつが虫病1人	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14						
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		腸管出血性大腸菌感染症1人				
34	H23.8.22 ~ H23.8.28		腸管出血性大腸菌感染症1人 細菌性赤痢2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		後天性免疫不全症候群1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11						
37	H23.9.12 ~ H23.9.18						アメーバ赤痢1人
38	H23.9.19 ~ H23.9.25			梅毒1人			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2						
40	H23.10.3 ~ H23.10.9						
41	H23.10.10 ~ H23.10.16		破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		つつが虫病2人 急性脳炎1人	
42	H23.10.17 ~ H23.10.23						
43	H23.10.24 ~ H23.10.30			破傷風1人			
44	H23.10.31 ~ H23.11.6						
45	H23.11.7 ~ H23.11.13					つつが虫病2人	
46	H23.11.14 ~ H23.11.20						
47	H23.11.21 ~ H23.11.27		つつが虫病1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	

VI 結核(二類全数把握疾患) 単位：人 2011年第29週～第47週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
29	H23.7.18 ~ H23.7.24	1	1	3		4	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31	1	1	3	2		3
31	H23.8.1 ~ H23.8.7	2		3	2	5	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14	3		3	2	1	
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		1		1		1
34	H23.8.22 ~ H23.8.28			7		3	2
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		1		4	1	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11	2	6	1	3	1	2
37	H23.9.12 ~ H23.9.18	1	1	3		1	
38	H23.9.19 ~ H23.9.25	2		2			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2	7		3	1	1	1
40	H23.10.3 ~ H23.10.9	3	1	3		4	
41	H23.10.10 ~ H23.10.16	1	3	2	1	3	
42	H23.10.17 ~ H23.10.23	3	2				1
43	H23.10.24 ~ H23.10.30	1	1	2		1	
44	H23.10.31 ~ H23.11.6	1		4		1	
45	H23.11.7 ~ H23.11.13	1	1	3	1		1
46	H23.11.14 ~ H23.11.20	1	3		1	1	3
47	H23.11.21 ~ H23.11.27	1	1	2	1	2	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

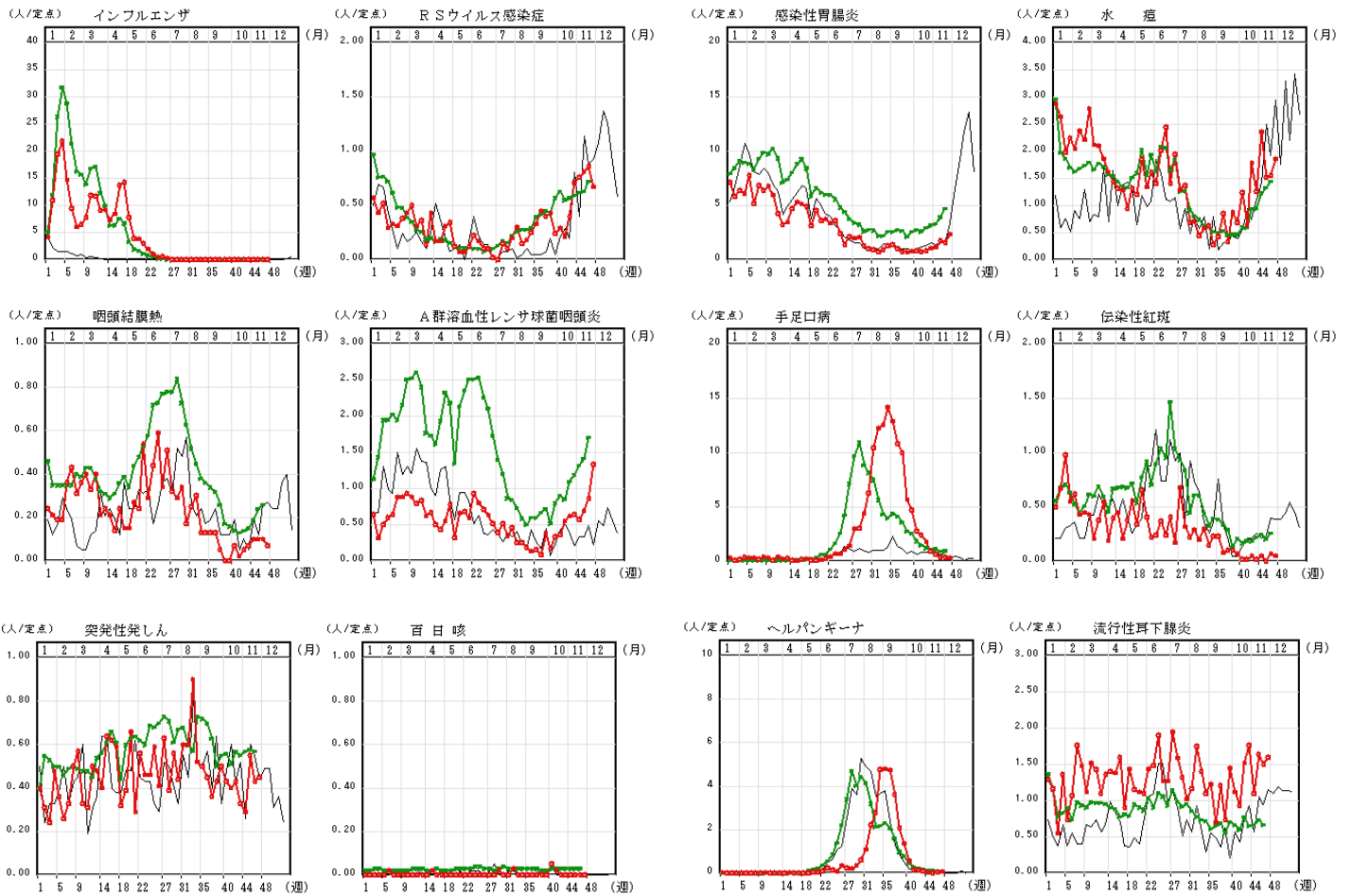
2011年12月5日17時00分集計速報値

	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリヌス症	マラリア
全国	1	27884	10	281	3725	21	21	53	168	14	13	1	2	9	314	96	160	8	6	72
青森県	0	385	0	2	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0
	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコムイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	
全国	7	3	744	24	747	225	229	8	123	180	1333	56	11	1	735	105	61	352	425	
青森県	0	0	2	0	2	0	3	0	1	2	4	0	0	0	6	4	1	0	1	

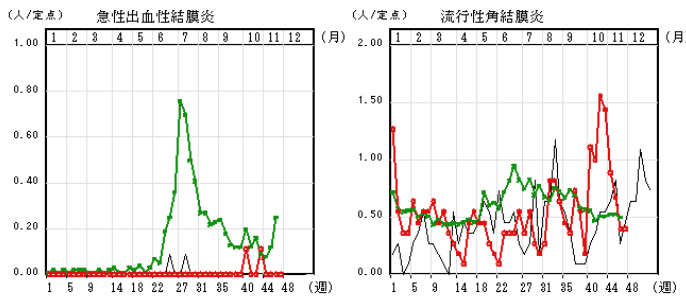
グラフの説明 ○—○は 2011 年青森県、——は 2010 年青森県、○—○は 2011 年全国

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2011 年第 47 週



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2011 年第 47 週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2011 年第 47 週

